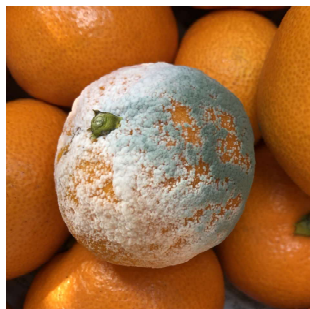


カンキツ貯蔵病害の防除薬剤について

R7年10月までに失効する予定の「ベフラン液剤25」に代わる候補薬剤として、ベルコートフロアブル (FRAC:M7) について希釈倍率と展着剤の加用効果を検討した。

■ 貯蔵病害とは

- 主に収穫後の果実に発生する病害の総称 (青かび病、軸腐病、黒腐病など)
- 最も被害が大きいのは**緑かび病**
- 緑かび病菌は果実の傷口から感染



緑かび病

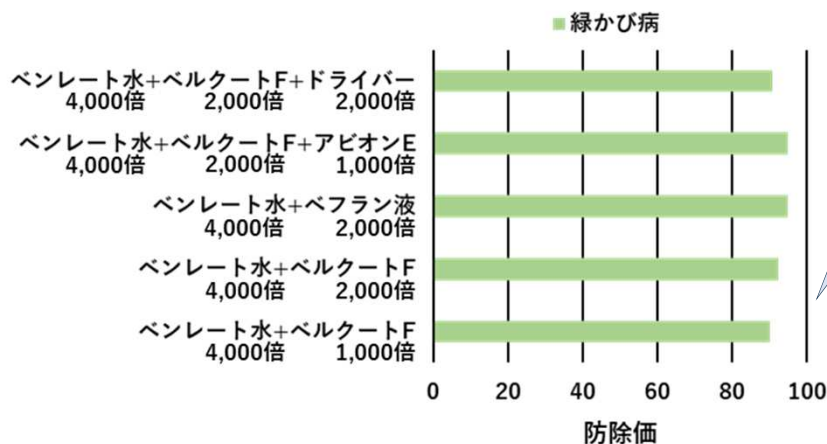
■ 展着剤の加用効果 (緑かび病)

供試品種 日南1号(33年生)

散布日 2023年10月5日

収穫日 2023年10月16日(散布11日後)

→ 針を固定した器具で付傷して、1週間ごとに発病果を調査



※防除価 = 100 - [(処理区発病果・箇所率 / 無処理区発病果・箇所率) × 100]
数値が大きい方が防除効果が高い

展着剤 (ドライバー、アピオンE) の加用がなくても効果が高い

■ ベルコートフロアブル使用上の注意点

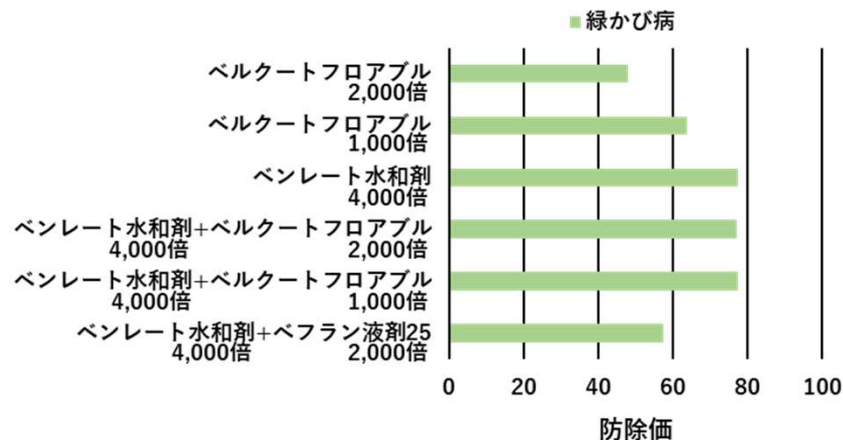
5℃以下では増粘性が増すため、容器を50℃以上の湯に浸けたり、暖かい部屋で保管するなどの対策が必要

■ 貯蔵試験 (緑かび病)

供試品種 宮川早生(19年生)

散布日 2022年11月4日、収穫日 2022年11月22日(散布18日後)

→ 針を固定した器具で付傷して、約2週間ごとに発病果を調査

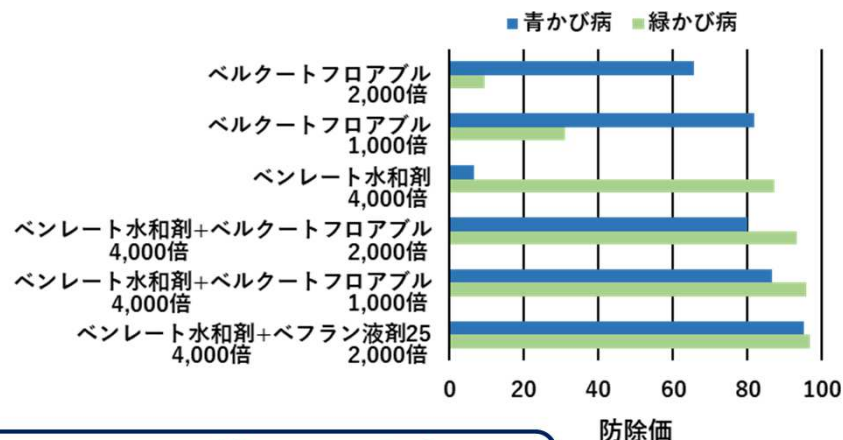


■ 接種試験 (緑かび病、青かび病)

供試品種 宮川早生(19年生)

散布日 2022年11月4日、収穫日 2022年11月15日(散布11日後)

→ 5針で付傷して病原菌を接種し、7日後に発病箇所率を調査



ベルコートフロアブルはベンレート水和剤混用では2,000倍で十分な効果。

単用では2,000倍に比べて1,000倍で防除価がやや高い。